

# 財務状況把握の結果概要

北陸財務局融資課

(対象年度:令和元年度)

## ◆対象団体

都道府県名	団体名
石川県	小松市

## ◆基本情報

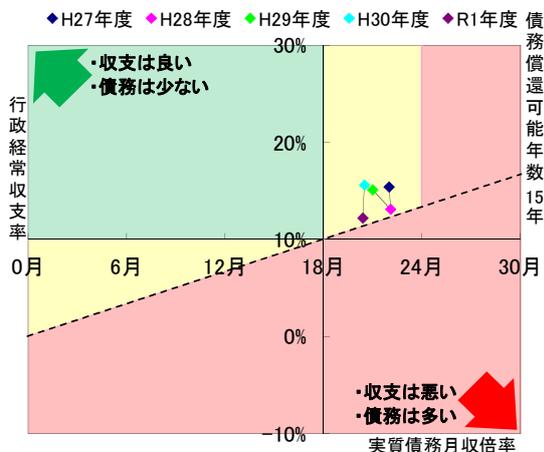
財政力指数	0.71	標準財政規模(百万円)	26,153
R2.1.1人口(人)	108,265	令和元年度職員数(人)	635
面積(Km <sup>2</sup> )	371.05	人口千人当たり職員数(人)	5.9

(単位:人)

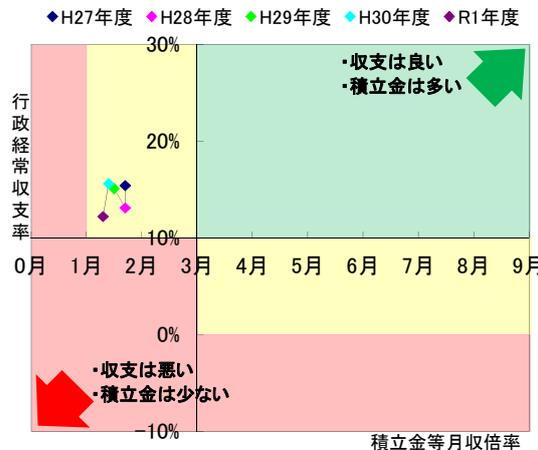
	総人口	年齢別人口構成						産業別人口構成					
		年少人口 (15歳未満)	構成比	生産年齢人口 (15歳~64歳)	構成比	老年人口 (65歳以上)	構成比	第一次産業 就業人口	構成比	第二次産業 就業人口	構成比	第三次産業 就業人口	構成比
H17年国調	109,084	16,740	15.3%	70,040	64.2%	22,118	20.3%	1,449	2.5%	21,920	38.3%	33,519	58.6%
H22年国調	108,433	15,900	14.8%	66,257	61.6%	25,350	23.6%	1,143	2.1%	20,088	37.6%	32,214	60.3%
H27年国調	106,919	14,691	14.1%	60,708	58.3%	28,772	27.6%	1,146	2.2%	20,224	38.2%	31,617	59.7%
H27年国調	全国平均		12.6%		60.7%		26.6%		4.0%		25.0%		71.0%
	石川県平均		13.0%		59.1%		27.9%		3.1%		28.5%		68.3%

## ◆ヒアリング等の結果概要

### 債務償還能力



### 資金繰り状況



債務高水準		積立低水準		収支低水準		該当なし	✓
【要因】		【要因】		【要因】			
建設債		建設投資目的の取崩し		地方税の減少			
実質的な債務	債務負担行為に基づく支出予定額	資金繰り目的の取崩し		人件費の増加			
	公営企業会計等の資金不足額	積立原資が低水準		物件費の増加			
	土地開発公社に係る普通会計の負担見込額	その他		扶助費の増加			
	第三セクター等に係る普通会計の負担見込額			補助費等・繰出金の増加			
その他				その他			

◆財務指標の経年推移

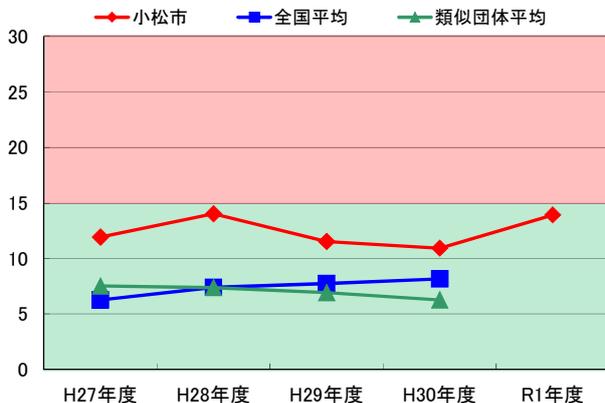
<財務指標>

類似団体区分
都市Ⅲ-2

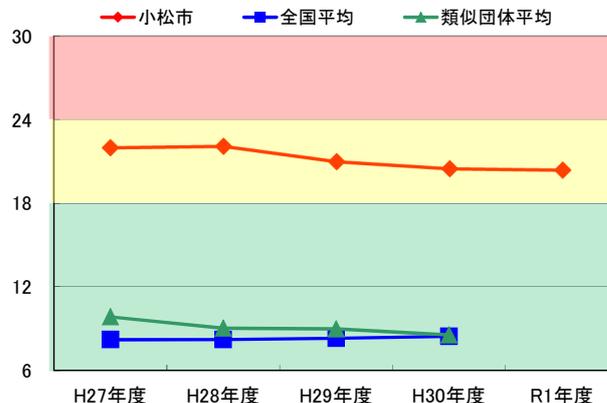
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 石川県 平均値
債務償還可能年数	11.9年	14.0年	11.5年	10.9年	<b>13.9年</b>	6.2年	8.1年	8.7年
実質債務月収倍率	22.0月	22.1月	21.0月	20.5月	<b>20.4月</b>	8.6月	8.5月	13.5月
積立金等月収倍率	1.7月	1.7月	1.5月	1.4月	<b>1.3月</b>	5.3月	7.5月	5.3月
行政経常収支率	15.4%	13.1%	15.1%	15.6%	<b>12.2%</b>	13.3%	10.9%	14.8%

※平均値は、いずれもH30年度

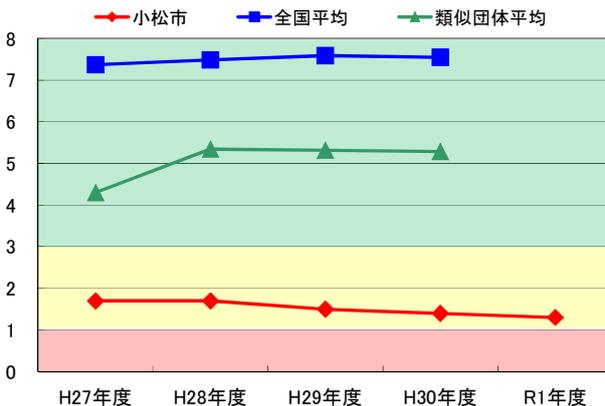
債務償還可能年数5カ年推移 (単位:年)



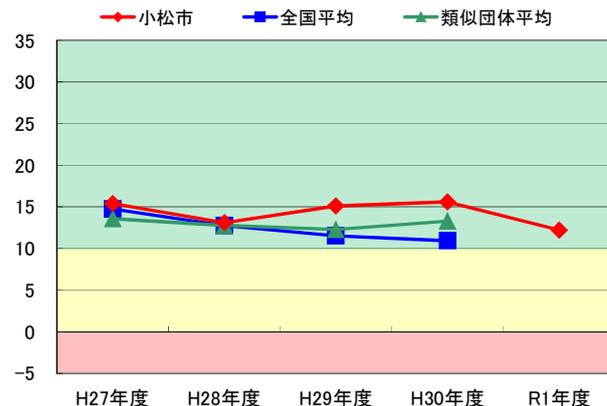
実質債務月収倍率5カ年推移 (単位:月)



積立金等月収倍率5カ年推移 (単位:月)



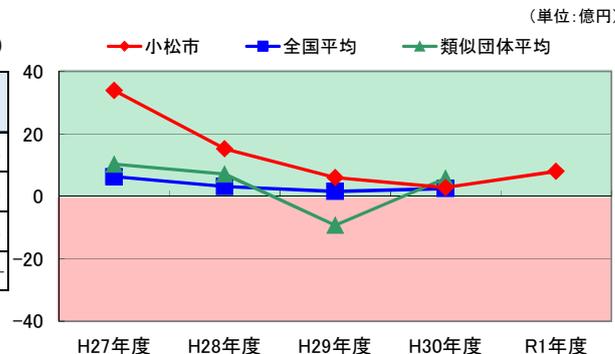
行政経常収支率5カ年推移 (単位:%)



<参考指標>

健全化判断比率	小松市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.01%	20.00%
連結実質赤字比率	-	17.01%	30.00%
実質公債費比率	<b>14.3%</b>	25.0%	35.0%
将来負担比率	<b>142.2%</b>	350.0%	-

基礎的財政収支(プライマリー・バランス)5カ年推移



※ 基礎的財政収支 = {歳入 - (地方債 + 繰越金 + 基金取崩)} - {歳出 - (公債費 + 基金積立)}

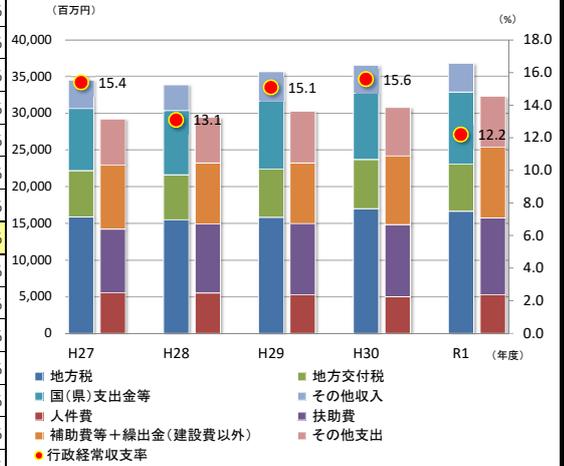
※ 基金は財政調整基金及び減債基金 (基金積立には決算剰余金処分による積立額を含まない。)

※1. 債務償還可能年数について、分子(実質債務)が0以下となる場合は「0.0年」を表示する。分子(実質債務)が0より大きく、かつ分母(行政経常収支)が0以下となる場合は空白で表示する。  
 ※2. 右上部表中の平均値については、各団体のH30年度計数を単純平均したものである。  
 ※3. 上記グラフ中の「類似団体平均」の類似区分については、H30年度の類似区分による。  
 ※4. 平均値の算出において、債務償還可能年数と実質債務月収倍率における分子(実質債務)がマイナスの場合には「0(年・月)」として単純平均している。

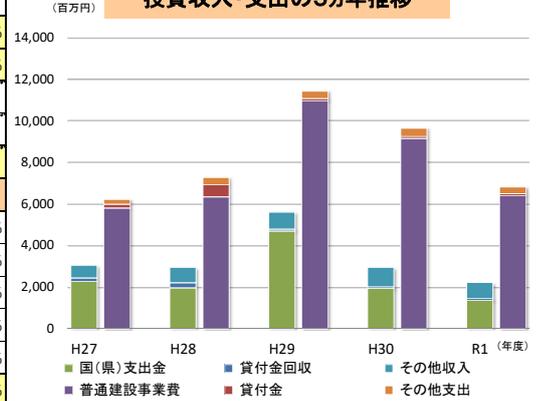
◆行政キャッシュフロー計算書

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	構成比	(百万円)	構成比
<b>行政活動の部</b>								
地方税	15,885	15,496	15,818	17,003	16,663	45.3%	20,769	49.7%
地方譲与税・交付金	2,997	2,648	2,815	2,853	2,899	7.9%	3,312	7.9%
地方交付税	6,329	6,130	6,605	6,703	6,418	17.4%	6,345	15.2%
国(県)支出金等	8,449	8,745	9,237	9,056	9,834	26.7%	8,438	20.2%
分担金及び負担金・寄附金	191	159	309	224	334	0.9%	736	1.8%
使用料・手数料	667	689	864	672	631	1.7%	1,001	2.4%
事業等収入	26	28	29	32	33	0.1%	1,203	2.9%
<b>行政経常収入</b>	<b>34,543</b>	<b>33,895</b>	<b>35,676</b>	<b>36,542</b>	<b>36,813</b>	<b>100.0%</b>	<b>41,803</b>	<b>100.0%</b>
人件費	5,514	5,504	5,253	4,985	5,260	14.3%	7,330	17.5%
物件費	5,181	5,258	5,736	5,832	6,246	17.0%	7,331	17.5%
維持補修費	303	269	721	284	265	0.7%	548	1.3%
扶助費	8,723	9,432	9,728	9,853	10,486	28.5%	10,413	24.9%
補助費等	5,075	4,865	5,012	6,038	6,182	16.8%	5,079	12.2%
繰出金(建設費以外)	3,644	3,445	3,260	3,339	3,471	9.4%	4,997	12.0%
支払利息 (うち一時借入金利息)	783 (0)	667 (0)	558 (0)	477 (0)	401 (0)	1.1%	298 (0)	0.7%
<b>行政経常支出</b>	<b>29,223</b>	<b>29,441</b>	<b>30,267</b>	<b>30,807</b>	<b>32,310</b>	<b>87.8%</b>	<b>35,995</b>	<b>86.1%</b>
<b>行政経常収支</b>	<b>5,320</b>	<b>4,454</b>	<b>5,410</b>	<b>5,735</b>	<b>4,503</b>	<b>12.2%</b>	<b>5,808</b>	<b>13.9%</b>
特別収入	459	738	460	790	495		905	
特別支出	-	-	-	11	-		616	
<b>行政収支(A)</b>	<b>5,780</b>	<b>5,192</b>	<b>5,870</b>	<b>6,513</b>	<b>4,998</b>		<b>6,097</b>	
<b>投資活動の部</b>								
国(県)支出金	2,273	1,966	4,705	1,947	1,377	62.0%	2,671	41.2%
分担金及び負担金・寄附金	254	225	238	306	172	7.7%	123	1.9%
財産売却収入	154	137	74	120	129	5.8%	256	4.0%
貸付金回収	169	245	89	73	69	3.1%	644	9.9%
基金取崩	201	367	501	493	473	21.3%	2,795	43.1%
<b>投資収入</b>	<b>3,051</b>	<b>2,940</b>	<b>5,608</b>	<b>2,939</b>	<b>2,220</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,490</b>	<b>100.0%</b>
普通建設事業費	5,812	6,347	10,968	9,164	6,405	288.5%	7,205	111.0%
繰出金(建設費)	-	-	-	-	-	0.0%	1,093	16.8%
投資及び出資金	-	-	-	10	9	0.4%	274	4.2%
貸付金	181	591	114	98	95	4.3%	683	10.5%
基金積立	234	341	352	377	307	13.8%	3,051	47.0%
<b>投資支出</b>	<b>6,227</b>	<b>7,279</b>	<b>11,434</b>	<b>9,649</b>	<b>6,817</b>	<b>307.0%</b>	<b>12,307</b>	<b>189.6%</b>
<b>投資収支</b>	<b>▲3,176</b>	<b>▲4,339</b>	<b>▲5,826</b>	<b>▲6,710</b>	<b>▲4,596</b>	<b>▲207.0%</b>	<b>▲5,817</b>	<b>▲89.6%</b>
<b>財務活動の部</b>								
地方債 (うち臨財債等)	3,626 (1,921)	4,854 (1,958)	5,874 (1,856)	6,078 (1,875)	4,971 (1,884)	100.0%	3,879 (1,424)	100.0%
翌年度繰上充用金	-	-	-	-	-	0.0%	-	0.0%
<b>財務収入</b>	<b>3,626</b>	<b>4,854</b>	<b>5,874</b>	<b>6,078</b>	<b>4,971</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,879</b>	<b>100.0%</b>
元金償還額 (うち臨財債等)	5,861 (1,176)	5,848 (1,326)	5,961 (1,492)	6,098 (1,617)	5,466 (1,594)	110.0%	4,264 (1,529)	109.9%
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	0.0%	-	0.0%
<b>財務支出(B)</b>	<b>5,861</b>	<b>5,848</b>	<b>5,961</b>	<b>6,098</b>	<b>5,466</b>	<b>110.0%</b>	<b>4,264</b>	<b>109.9%</b>
<b>財務収支</b>	<b>▲2,234</b>	<b>▲994</b>	<b>▲88</b>	<b>▲20</b>	<b>▲495</b>	<b>▲10.0%</b>	<b>▲384</b>	<b>▲9.9%</b>
<b>収支合計</b>	<b>370</b>	<b>▲141</b>	<b>▲44</b>	<b>▲217</b>	<b>▲93</b>		<b>▲104</b>	
<b>償還後行政収支(A-B)</b>	<b>▲81</b>	<b>▲656</b>	<b>▲91</b>	<b>415</b>	<b>▲467</b>		<b>1,834</b>	
<b>参考</b>								
実質債務 (うち地方債現在高)	63,482 (66,589)	62,555 (65,595)	62,654 (65,507)	62,689 (65,487)	62,679 (64,992)		25,018 (44,786)	
積立金等残高	5,080	4,914	4,720	4,388	4,129		20,894	

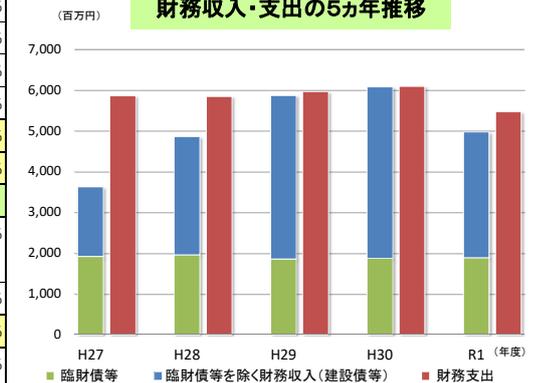
行政経常収入・支出の5カ年推移



投資収入・支出の5カ年推移



財務収入・支出の5カ年推移



実質債務・債務償還可能年数の5カ年推移

